

中国がアラブ国家に新型戦闘無人機を輸出

漢和防務評論 20180306(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

昨年 11 月のドバイ航空ショーに初めて中国の戦闘無人機が展示されました。エジプトや UAE 等へは、すでに中国の戦闘無人機 YL-1 が輸出されていますが、中国は今後、中東諸国に本格的に無人機を輸出する体制を整える方向にあるようです。そのため某国に中国無人機の専門修理工場を設立する計画とか。この某国とはスーダンか？

KDR ドバイ平可夫特電：

某アラブ国家の軍事工業界の権威筋は **KDR** に次のように述べた：我が国は、中国から大量の戦闘無人機を輸入する契約書に署名した、と。某国空軍には、2019 年から大量の YL (翼龍) -2 及び大量の CH (彩虹) 型攻撃無人機を輸入する計画がある。前者は AVIC (中国航空工業集团公司) の製品であり、後者は長征公司の製品である。なぜ同時に 2 種類の戦闘無人機を輸入するのか？しかも別々の会社から。

これに対して、某国軍事工業界の指導者は **KDR** に次のように述べた：我が国は、様々な無人機を輸入することによって、製造、修理技術を学び、最終的には他のアラブ国が輸入する中国製無人機の修理を受注したい、と。

また消息筋は次のように述べた：あるアラブ国は、YL-2 無人機を輸入しようとしている、と。この無人機と YL-1 は、高空戦闘無人機であり、ドバイ航空ショーに展示した。今回中国の無人機としては初めての中東の航空ショー参加であった。エジプト、UAE 等、様々な国が初期型の YL-1 を装備している。

中国空軍にも自ら YL-2 を装備する計画がある。その理由は、中国空軍がアラブ国の訓練計画の一部を請け負っているからである。新たに導入する某国の YL-2 の修理は、某国の会社が自国で行うことになる。

また中国は、ロシアに YL-1 或いは YL-2 を売り込もうとしている。しかしロシアの権威筋は次のように述べた：ロシアは中国から戦闘無人機を輸入するつもりはない。なぜならロシアは自国で戦闘無人機を設計、製造するからだ。すでに完成間近であり、まもなく試験飛行が行われ、生産に移行する。ロシアの戦闘無人機は傑出したステルス性がある、と。

中国の軍事装備は、相当早いスピードで、某国、クウェート、オマーン等中東湾岸諸国に輸出されている。しかも” 一带一路 ” の旗印を掲げている。これら中東湾岸諸国が中国の軍事装備に依存するようになると、中国はこれらの国の石油や天然ガスを容易に獲得できるようになる。一部の武器貿易はバーター方式を利用している。

中国の攻撃無人機を獲得すると、某国空軍は、ますます多くの中国無人機を保

有することになる。某国は中国製軍用無人機の大きな市場になる。
ドバイ航空ショーにおいて、AVIC はまた雲影（CLOUD SHADOW）と称する
高空攻撃無人機を展示した。この無人機は、未だ中国空軍は装備していない。
最大離陸重量は 3200KG に達し、4 乃至 6 発の各種ミサイル、爆弾を携行する。
ペイロードは、400KG、最大巡航高度は 12500M、滞空時間は 5 時間、最大巡
航速度は、毎時 520KM 乃至 420KM である。
この種の高空無人機には、3 つのタイプがある。CS-3 と称される偵察・攻撃一
体型、CS-1 と称される画像偵察型、CS-2 と称される電子偵察型である。
AVIC が公表した画像を見ると、中国空軍が装備する YL-1 型無人機は相当堅固
な格納庫を使用している。

以上